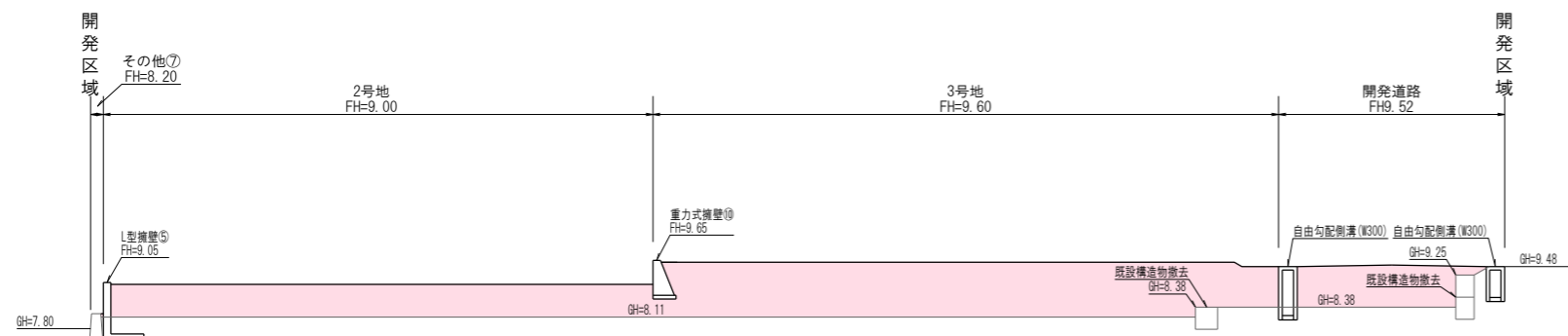
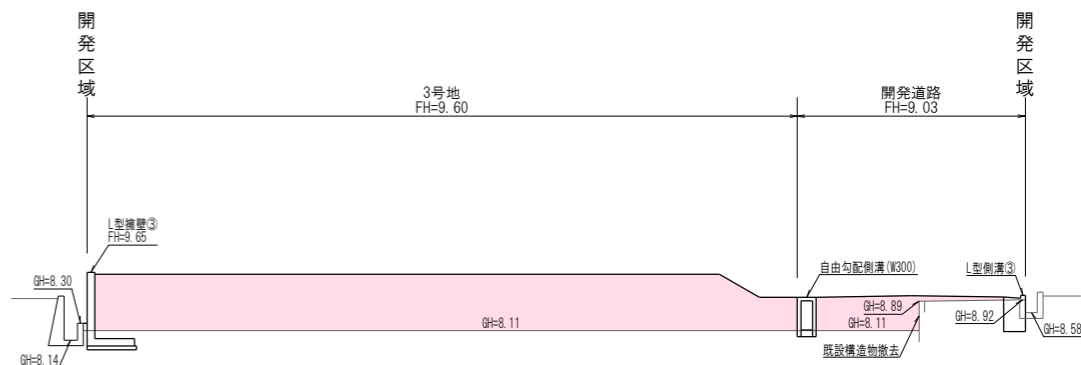


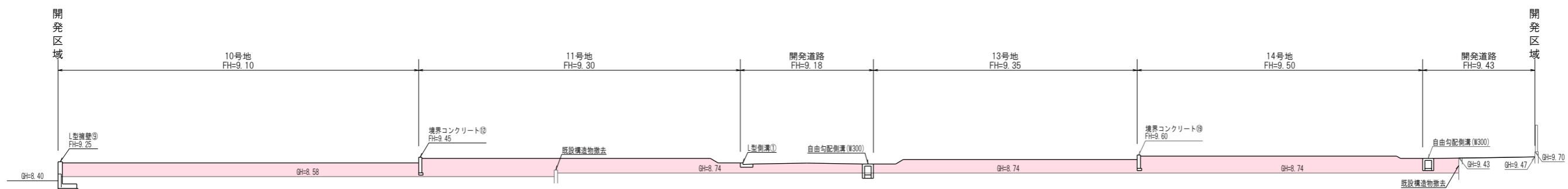
A-A'



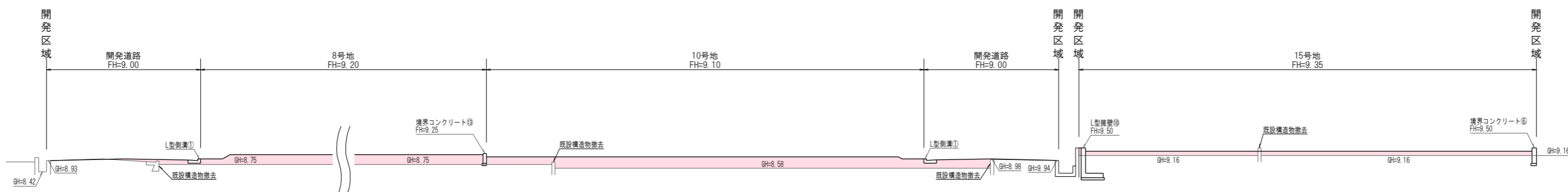
B-B'



C-C'



D-D'

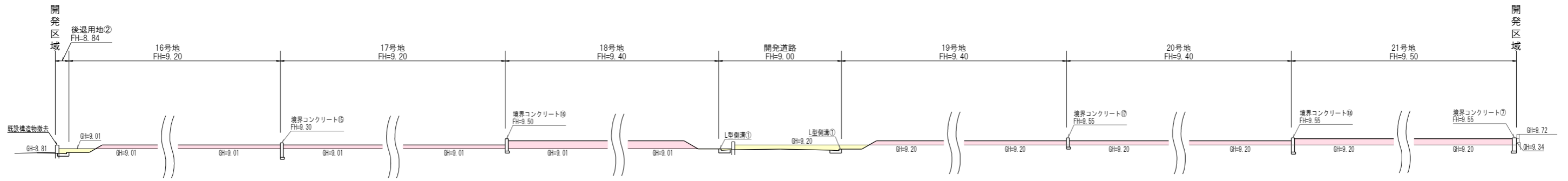


盛土 切土

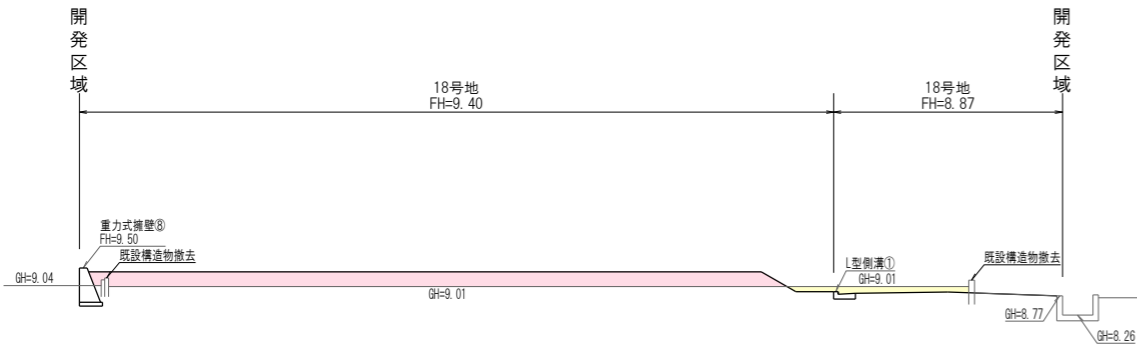
- ・盛土厚は現地盤からの厚さとする。
- ・表土（天土）の処理については、20cm程度すきとりを行う。
- ・盛土及び埋戻し土は、良質花崗土を使用する。
- ・県外土砂等を埋立等に使用しない。
- ・盛土及び埋戻し土は、おおむね30cm以下の層に分けて盛り、各層毎にタンバや振動ローラの転圧機械により十分転圧を行う。
- ・道路と宅地の境界付近1.00m以内はLevelとする。
- ・尚、段差を生じる場合は30度以内の法面を設ける。
- ・開発区域内の既存構造物は撤去すること。
- ・地盤改良を行う場合は、六価クロム溶出試験を行い、結果報告をすること。

図面名	造成計画断面図①
所在	高松市仏生山町字中筋・字高木
縮尺	200分の1
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

E-E'



F-F'



盛土

切土

- ・盛土厚は現地盤からの厚さとする。
- ・表土（天土）の処理については、20cm程度すきとりを行う。
- ・盛土及び埋戻し土は、良質花崗土を使用する。
- ・県外土砂等を埋立等に使用しない。
- ・盛土及び埋戻し土は、おおむね30cm以下の層に分けて盛り、各層毎にタンバや振動ローラの転圧機械により十分転圧を行う。
- ・道路と宅地の境界付近1.00m以内はLevelとする。
- ・尚、段差を生じる場合は30度以内の法面を設ける。
- ・開発区域内の既存構造物は撤去すること。
- ・地盤改良を行う場合は、六価クロム溶出試験を行い、結果報告をすること。

図面名	造成計画断面図②
所在	高松市仏生山町字中筋・字高木
縮尺	200分の1
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智